

第55期 定期総代会が開催されました



▲梁幸嘉理事長の事業報告



▲金正中会長の挨拶

6月25日(火)ホテルロイトン札幌にて当組合第55期定期総代会が開催され、第54期剰余金処分案、第55期事業計画及び収支予算案等が承認されました。

理事長による第54期事業報告要旨は次の通りです。
(要旨)

昨年度の日本経済は好調な企業業績を背景にした設備投資や東京オリンピック・パラリンピックに向けた建設需要、外国人観光客増加に伴うインバウンド効果等により緩やかな回復基調で推移してきましたが、昨年後半からの米中貿易摩擦が中国はもとより日本を含む世界経済の波乱要因になってきており、加えて中東情勢の不安定化による原油価格の変動や英国のEU離脱問題などから景気先行きに不透明感が増大してきました。また、首都圏への一極集中と地方の過疎化進展による都市と地方間の格差拡大が一層顕著となる中、北海道・東北地域をはじめとした地方では、好景気の影響は限定的であり、中小規模事業者の業況は製造業、建設業など一部の業種は堅調に推移しているものの、人件費、原材料費、燃料費等の高騰や人手不足の慢性化など経営環境は依然として厳しい状況が続いており、更に今年10月からの消費税増税の影響も懸念されます。

このような経営環境のもと当組合では同胞取引基盤強化と持続的収益基盤の構築を柱とした〈第1次3か年中期経営計画〉2年目の事業として提案融資や経営安定化支援融資、住宅ローンをはじめとした各種ローンの推進を図り、組合員の皆様の資金ニーズに迅速に対応するとともに、生活・事業全般の相談や経営改善サポートなど組合員の個別課題を共に解決していくソリューション営業の推進に努めてまいりました。また、「同胞去来者全戸訪問運動」を推進するとともに、組合員韓国旅行や、営業店ごとの感謝デー、各種セミナー、ゴルフ大会など多彩なイベントを実施し、若手同胞組合員をはじめとした幅広い層との繋がりを深めることで、同胞取引基盤の強化を図ってまいりました。

今後も経営理念に基づき地域同胞社会に貢献する相互扶助組織の民族金融機関として、〈第1次3か年中期経営計画〉を積極的に推進し、地域社会に密着した金融サービスを提供することで組合員の皆様の事業発展と生活水準の向上に貢献してゆく所存であります。

今後も引き続き皆様のお力添えをお願いしたい旨の報告を行いました。

総代会終了後、第2部では河本司法書士事務所の河正潤先生による「改正民法等から遺言書等相続対策を考える」と題した講演があり、その後懇親会が行われました。



▲河正潤先生の公演

第54期 主要業績

事業期間 2018年4月1日～2019年3月31日

預金・積金 916億円

自己資本比率 12.65%

貸出金 484億円

当期純利益 1億9千万円

総代ゴルフ大会が開催されました



定期総代会翌日の6月26日(水)、北海道・東北地区の理事・総代65名の参加のもと「総代ゴルフ大会」が恵庭カントリー倶楽部で開催されました。大会当日は初夏の晴天に恵まれ和やかな雰囲気の中、各地域総代間の親睦を深める有意義なゴルフ大会となりました。

たくさんのご参加ありがとうございました 各地域で地域総代・組合員の集いを開催しました

各地域で「定期総代会の報告及び今期の事業計画」について説明を行いました。2部の懇親会では地域組合員間の親睦を深める有意義な機会となりました。

本店(釧路地域)



参加者
17名

7月9日(火)

同僚が経営する焼肉店で開催し、食事は美味しく、量も丁度良かったとの感想がありました。また、女性の参加者が多く賑わいました。

苫小牧支店



参加者
33名

7月17日(水)

毎年恒例の焼肉ビアパーティーを行い、乾杯の挨拶を務めた総代から組合と店舗指標達成のため参加者へ協力の呼びかけがありました。

旭川支店



参加者
33名

7月29日(月)

2部の懇親会では、焼肉、牡蠣、ビールを堪能し盛り上がるなか、夏季学校が同時開催され、ウリハッキョ教員と子供たちも楽しんでいました。

福島支店



参加者
58名

7月23日(火)

「消費税増税」のセミナーを実施し、その後支店中庭で焼肉ビアパーティーを開催。職員たちの準備に対し、お褒めの言葉が多数ありました。

東北支店



参加者
44名

7月18日(木)

宮城県商工会次長による「消費税増税」のセミナーを実施。懇親会は女性同盟からスープなどの提供があり、とても美味しかったとの感想が多数ありました。

東北支店(秋田地域)



参加者
21名

7月21日(日)

参加者から「店舗が統合しても職員たちが頑張っていると感じる。今後でもできる限り協力する」とのお言葉をいただきました。

岩手出張所



参加者
19名

7月11日(木)

参加者から「こうした行事を開いてくれるおかげで、懐かしい知人とも再会できた。開催してくれてありがたい」とのお言葉をいただきました。

青森出張所



参加者
35名

7月18日(木)

ビアガーデンを開催し、参加者からは日頃会えない同僚たちに会えるので毎年の開催を望む声と、店舗への協力を約束してくれました。



同胞企業人紹介

今号ではプラスチック製品の製造業を営む福島支店お取引先の任明憲氏をご紹介します。

東京都足立区に生まれトンポトネに囲まれて育った氏は、民族学校を卒業後朝銀東京信用組合(現ハナ信用組合)に就職。その後遊技業、産廃業、タクシー運転手など多様な経験を積み、現在は有限会社ケースクラフトの代表取締役を務めています。

同社はプラスチック成型、加工を行う製造業で設備工用、医療施設用、住宅設備用、機器用のコンセントやプラグ等を製造しています。また、医療用配線器具分野で国内シェア上位に位置する(株)明工社からの受注をメインとしており、高い技術力に裏打ちされた商品の品質に定評がある企業です。

『モノづくりにおける品質は、社員の技術と気持ちに比例する』と語る氏は、自らが技術工員として製造ラインを操作するかたわら、製品の仕上げ工程では従業員への丁寧な技

術指導を行うことで高い品質を保っているとのことでした。

地域同胞社会では実直で明るい人柄から人望も厚く「イオ会」(福島県40代、50代の商工人の会)副会長を務めるなど若い世代の中心的な人物です。朝銀OBでもある氏は『昔から同胞のためを一番に考えるのが朝銀であり、これからも相互扶助の精神で同胞社会を盛り上げてほしい。』と当組合について語られていました。

若手同胞商工人へのメッセージ
何事も積極的にチャレンジすること。
そして良い仲間を作ること。
まずはイオ会に参加ください!

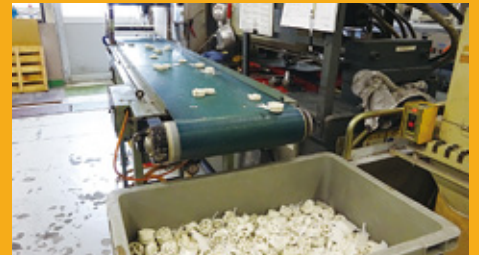
有限会社 ケースクラフト

福島県須賀川市長沼字町尻26-5

TEL 0248-77-1129



◀任明憲氏



▶プラスチック成型の製造ライン

地域貢献 9月5日(木)

献血活動



▲本店前の献血バス

信用組合業界では毎年9月3日を「しんくみの日」、9月1日から9月7日までの期間を「しんくみの日週間」と定めて様々な社会奉仕活動を実施しております。当組合は地域貢献活動の一環として毎年献血活動を行っており、今年も当組合役職員はもちろん組合員の皆様方にもご協力をいただきました。



地域密着活動 9月8日(日)

アンニョンフェスタ



▲当日は終始大盛況でした

▲屋台を手伝う本店職員

北海道のウリハッキョ(朝鮮学校)にて、第12回アンニョンフェスタが晴天のなか開催されました。近隣の方をはじめ、多くの日本の方々にもウリハッキョを知っていただくよう企画され、当日は2,700人を超える来場者で賑わいました。

当組合からは42名の役職員が飲食屋台や芸術公演など様々な催しのお手伝いをしました。

ウリ青年会 活動報告

7月13日(土)・14日(日)

毎年恒例のサマーキャンプを開催しました

今年度は北海道・ニセコにて毎年恒例のサマーキャンプを開催しました。当日はラフティングを楽しみ、夜はBBQや花火で盛り上がり、会員間の連帯意識を向上させる有意義な交流の場となりました。



▲1日目 ラフティング受付前



▲2日目 昼食ホテル前 (ヒルトンニセコビレッジ)

融資・渉外・預金 合同担当者会議 ▶5月25日(土)・26日(日)

会議では前期の事業総括と〈第1次3ヵ年中期経営計画〉最終事業年度となる今期の重点活動の説明が行われ、その後担当者別に分かれ「同胞取引基盤強化及び融資推進強化策の実践」をテーマにディスカッションを行いました。翌日は担当係別に研修を行い、預金担当者は「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策強化に係る事務対応」などについて、融資・渉外担当者は株式会社船井総合研究所の平野孝氏を講師として「遊技業界の現状と今後の展望」についての研修を行いました。

今回は目標達成に向けた責任感の向上及び全員営業推進体制の強化を図る会議となりました。



▲合同担当者会議の様子



▲預金担当者の研修



▲平野孝氏による研修

行事案内

- 10/ 1(火) 岩手出張所・組合員ゴルフ大会(盛岡南ゴルフ倶楽部)
- 10/10(木) 東北地区・組合員ゴルフ大会(仙台カントリー倶楽部)
- 10/12(土) 福島朝鮮初中級学校 運動会(福島朝鮮初中級学校)
- 10/18(金) 金剛山歌劇団・札幌公演(札幌市教育文化会館)
- 10/26(土) 北海道朝鮮初中高級学校 学芸会(北海道朝鮮初中高級学校)
- 10/26(土) 東北朝鮮初中級学校 学芸会(東北朝鮮初中級学校)

